

## 広島県中小企業団体中央会 2020年5月分情報連絡一覧表

※本調査は5月の見通しについても調査をしている関係上、新型コロナウイルスの世界的感染拡大に対する5月以降のコメントも掲載しています。

(食料品)

### ●食料品

#### 中国醤油醸造協同組合

5月の出荷量は前月比38.2%減少、前年同月比32.3%減少となり、売上高は前月比37.6%減少、前年同月比34.6%減少となった。

#### 広島県東部菓子商工業協同組合

新型コロナウイルスの影響により売上が上がったところ、下がったところがある。製造小売業の店舗が持ち直してきた感がある。業者によって明暗がわかれている。

(繊維・同製品)

### ●繊維工業

#### 広島県織物構造改善工業組合

引き続き、新型コロナウイルスの影響により、互いに面談を自粛し、訪問営業が出来ず、営業活動が低下している。輸出もストップしている。今後益々売上減少、収入減少、資金繰り悪化が予想される。

### ●衣服・その他の繊維製品

#### 広島県アパレル工業組合

新型コロナウイルスの影響により、特にカジュアルウエア、婦人服、ユニフォームは今後影響が大きくなるのではないかとと思われる。

(木材・木製品)

### ●木材・木製品

#### ひろしま木材事業協同組合

国産材製材工場は減産局面に入っており、必要最小限の原木調達にとどめ、適正な在庫の維持に努めている。

需要低下を受け、桧原木を中心に価格の下落が続いており、県内木材市場における出材量は減少傾向にある。

先行き不透明な状況が続いているが、緊急事態宣言の解除により営業活動なども再開され、情報収集が進むことが期待される。少なくとも、新型コロナウイルスの影響は6月以降に本格化すると見られる。

#### 福山木材協同組合

今後6月、7月に向けて売上、景況感ともさらに悪化しそうである。

#### 広島県木材協同組合連合会

##### <全国>

- ・令和2年4月の全国の住宅着工戸数は69,162戸で前年同月比12.9%減少
- ・季節調整済年率換算値では797千戸(前月比12.0%減少)
- ・利用関係別では、持家は21,015戸で前年同月比17.4%減少、貸家は24,976戸で前年同月比15.4%減少
- ・分譲住宅は22,557戸で前年同月比3.6%減少
- ・木造住宅着工は38,840戸で前年同月比14.0%減少
- ・住宅着工動向は前年同月比10ヶ月連続で減少し、リーマン・ショック後並みの低い水準となっている

##### <広島>

新型コロナウイルスの影響による全国の動きは国内外に及び本県においても外出自粛や3密回避の要請で経済活動のみならず日常生活にまで支障が出る中で、これまで高水準の稼働を保っていたプレカット工場にも需要減退の声が聞かれる。業態や営業姿勢によって繁閑のばらつきも大きく、売上減少、採算悪化、コロナショックで見通せない需要動向、先行きの仕事量確保への警戒感、輸出関連の物流梱包の需要停滞の影響など様々な不安要素を訴える声は多い。また、今後の経済活動の停滞で資金繰りを不安視する声も多く、今後の動向をしっかりと注視していく。

(印刷)

### ●出版・印刷・同関連

#### 広島県印刷工業組合

Withコロナを見据え、色々なことを再度構築していく必要がある。時代の変化に対応し、自社や業界が変革することで生き残りを図る必要を感じている。

まずは、持続化給付金や雇用調整助成金など施策をフル活用し、堪え忍ぶ日々である。

(化学・ゴム)

### ●工業用ゴム製品

#### 中国ゴム工業協同組合

世界的に流行している新型コロナウイルスによる影響は、インバウンド、サプライチェーン等広範囲に

及び深刻な影響を及ぼしている。未だ終息の時期も見通せず、今後多くの倒産が発生する可能性が高い。早く感染拡大が止まり、自粛ムードが収まり、個人消費が回復することを願う。

かつて経験したことのない大不況に見舞われることになると思われる。工場の稼働率低下の原因が中国発のサプライチェーンの分断から販売減によるものとなっている。

医療用ゴム製品などの一部業種を除き、かつてない厳しい状況が続く見込みである。得意先の生産調整を受けて臨時休業の実施や不急投資の凍結などを通じて従業員の雇用を死守していきたい。

### ●プラスチック製品製造業

#### 広島県プラスチック工業会

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、業界全体が売上、設備操業度ともに大幅に減少している。

各社資金繰りが懸念される。

(窯業・土石製品)

### ●窯業・土石製品

#### 広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

2年 5月2,882m<sup>3</sup> (前年比4.76%減少)

2年 4月3,004m<sup>3</sup>

R1年 5月3,026m<sup>3</sup>

(鉄鋼・金属製品)

### ●鉄鋼業

#### 靱鉄鋼協同組合連合会

団地内で数社、平日に休業している事業所がある。新型コロナウイルスの影響だけでなく消費税率引き上げの影響も少なからずある様子である。

先月倒産した当会敷地の隣地に買い手がつき、現在会員へ加入干渉するよう働きかけている。

#### 広島県鋳物工業協同組合

3月末のマツダの2工場の操業停止により自動車部品メーカーは大幅な業績低下に追い込まれている。

その他一般機械関係も操業率が20%~30%減少で推移しており、今後も低下が見込まれる。

(一般機器)

### ●一般機械器具

#### 出島工業会協同組合

組合員の動向について、今後後継者不在による廃業や、土地代や流通面からより条件の良い場所への移転などに伴う脱退が年に1, 2社程度でてくる可能性がある。

#### 広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの影響により、前年に比べ設備操業度が低下しており、前月比7.5%減少、前年同月比は40.4%減少となった。

前年同期に比べ、収益状況が悪化している。新型コロナウイルスの影響で営業や出張に影響がでている。

テレワークが難しい開発部門に影響が出ている。

#### リョービ関連工業協同組合

新型コロナウイルスの影響により、急速に業況が悪化している。

(電気機器)

### ●電気機械器具

#### 広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

今月の売上は、新型コロナウイルスの影響により海外との取引は停止、国内は自粛により停滞したことと前月比5.4%減少、前年同月比12.0%減少となった。資金繰りの悪化が出始めており、今後の不透明感が強い。

(輸送用機器)

### ●輸送用機械器具 (自動車)

#### 東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客 (マツダ) の業況 (生産台数) に比例している。

・5月の国内自動車販売台数は全需が218千台、前年同月比44.9%減少と8ヶ月連続の前年割れ。登録車は前年同月比40.2%減少と8ヶ月連続の前年割れ、軽自動車は前年同月比で52.7%減少と8ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同50.1%減少と2ヶ月連続の前年割れ

・アメリカの4月の全需は711千台で前年同月比46.6%減少と2ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同44.3%減少と2ヶ月連続の前年割れ

・欧州の4月の全需は321千台で、前年同月比78.9%減少と4ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同80.8%減少と4ヶ月連続の前年割れ

・中国の4月の全需は2,070千台で、前年同月比4.5%増加。マツダ車も同1.0%減少と4ヶ月振りの前年超え

・上記各地域の状況下、マツダ車の4月の海外販売合計台数は42千台、前年同月比57.5%減少で4ヶ月連続の前年割れ

・マツダの4月の輸出動向については、輸出台数は前年比89.3%減少と7ヶ月連続の前年割れ

・マツダの4月の国内生産台数は、前年同月比86.5%減少と7ヶ月連続の前年割れ

### ●輸送用機械器具（造船）

#### 中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の令和2年4月の船舶建造許可実績は4隻105,940総トンであった。（前月6隻239,900総トン、前年同月2隻47,700総トン）

なお、この4隻は輸出船で貨物船であった。

#### （一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

#### （卸売業）

### ●卸売業（総合）

#### 協同組合福山卸センター

新型コロナウイルスの影響により、売上、収益、資金繰りが悪化している。

#### 協同組合広島総合卸センター

5月に入り、資金繰りへの影響が深刻化しており、金融機関から借入を行う企業も出ているが一部には断られている企業も出ているようである。新型コロナウイルスの影響がどこまで出ているのか、現時点では予測不可能で先行きも不透明である。

「雑貨」においては、販売先の小売企業の売れ行きは鈍く、販売は減少しており、引き続き見通しは厳しい。

「資材」においては、販売先の設備投資抑制等から受注が前年比減少している。引き続き見通しは厳しい。

「食品」においては、スーパー向けの日配品・生鮮品は前年並み。外食や土産品向けは引き続き厳しい。販売先によって濃淡がある。

「繊維」においては、販売先の休業や販売不振、展示会・商談会の中止等で売上は減少している。引き続き見通しは厳しい。

5月から借入を行っている事業者もある。また、一部借入ができない企業もあり、今後の事業継続が心配な組合員も出てきている。

### ●卸売業（生鮮）

#### 広島水産物仲卸協同組合

新型コロナウイルスの影響により、業務用関係の売上げが減少している。

### ●卸売業（電設資材）

#### 広島県電設資材卸業協同組合

3月の住宅着工状況より、電設資材仕上げの先々予測は、持ち家が9月頃の仕上げが増加、貸家は12月頃の仕上げが増加、分譲は3月頃の仕上げが増加予定。

新型コロナウイルスの影響で、建設業界は他業界より遅れて景況悪化となり、5月までの影響は未だ少ないが、工事延期、中止、見積減などの事態となっている。

### ●卸売業（家具）

#### リビズ株式会社

今月は、第2週の自粛解除後、好調である。キャッシュレス消費者還元事業の駆け込み需要や特別定額給付金の支給により、今後売上増加が見込まれる。

### ●卸売業（畳・敷物）

#### 広島県藁製品商業協同組合

新型コロナウイルスの影響により、各社思ったほど受注は伸びず扱ひ量、販売も低調である。

い草の生産者は、先狩りも終え、梅雨の雨量とともに藁草が生長し伸びることを期待している。長物では160センチ程度に伸び、この「長藁」が農家の収穫量に大きく関係する。そのため、圃場の管理（雑草、害虫防除、施肥）が必要となる。徐光と水も重要である。粒と色合いが均一で色段と虫食いが無いものを求め日々生産者は努力している。

#### （小売業）

### ●各種商品小売業

#### 広島生鮮三品連絡協議会

卸売市場水産部の5月度の取扱高は前年比30%減少のまま推移、青果部の取扱高は飲食関連の落ち込みを小売がカバーし前年並みとなった。

非常事態宣言が解除され、飲食店も少しずつ営業を再開し始めているが、以前の荷動きに戻るには相当の時間を要する。

収入が減少し、先行きに不安を持つ消費者の節約志向が強まり、客単価が下がり始めた。購買意欲醸成に向け、スーパー各社の値下げ競争がさらに強まる懸念がある。

接触を避ける新しい行動様式を推進しているためか、キャッシュレスが増えてきた。換金までのタイムラグから資金繰りに影響が出ている。ポイント還元が終了する6月以降、キャッシュレス決済手数料の実質増加

により収益悪化が懸念される。

#### 協同組合三次ショッピングセンター

5月は薬局、手芸店以外の全ての業種において売上は大幅に減少した。テナント1店が営業再開の目処がたたず退店した。家賃の滞納が発生するなど、組合運営に支障が出ている。

#### ●家庭用電気機械器具小売

##### 広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比14.9%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比15.6%減少、冷蔵庫同12.8%減少、洗濯機同18.1%減少、IHクッキングヒーター同4.8%減少、電気温水器同4.2%減少、エアコン同19.7%減少となった。

#### ●その他の小売業（燃料）

##### 広島県石油商業組合

売上は、前年同月比2割減少程度と推測される。数量的には4月に比べて若干の改善が見られる。しかし、原油価格は既に上昇基調であり、仕入価格が毎週高騰しているにもかかわらず中々小売価格に転嫁できていない。数量に見合うだけの利益を確保出来ず、固定費の捻出にも苦慮している。

#### （商店街）

#### ●商店街（各種商品小売業）

##### 呉本通商店街振興組合

呉市では感染者が1名と少なかったにもかかわらず、新型コロナウイルスの影響で5月の連休中に休業する店が飲食業、小売業、イベント業を中心に増加し、全般的に売上高が激減している。さらに、政府の緊急事態宣言の解除が行われたものの、新しい生活様式の導入（外出規制が実質まだまだ続いている）に伴い、客足は戻っていないのが現状である。特に、この地区では、個人に国が配布する布製マスクは未だ届かず、特別給付金も一部の支給にとどまっている。事業者に関しては、持続化給付金などの休業補償や緊急支援融資などの相談が依然として多く、関係機関はその対応に追われている。当地区の夏の土曜夜市へも参加しないことを表明する声が多くなっている。

#### （サービス業）

#### ●自動車整備業

##### 広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比23.5%減少、前年比6.6%減少

車検場収入は、前月比23.4%減少、前年比7.2%減少

重量税・登録印紙の売上は、前月比16.0%減少、前年比18.1%減少

#### ●広告業

##### 広島県広告美術協同組合連合会

新型コロナウイルス感染拡大の影響で前月よりさらに売上は減少した。また取引先の休業要請など、組合員にも大きな影響がでている。

各イベントの中止や広告宣伝の自粛など、今後の見通しが立たない状況である。

#### ●警備業

##### 広島県警備業協同組合

新型コロナウイルスの影響により、今後も売上、仕事量の減少が見込まれる。

#### ●情報サービス

#### （一社）広島県情報産業協会

新型コロナウイルスの影響により、電気通信業、電気工事業では現在のところ特に影響がなく、予定していた案件を受注して対応している。しかし、派遣業については案件の節目や、新型コロナウイルスの影響で案件が中止になるなどで次の案件が決まらず戻ってくる社員もいる。面談ができないため外出自粛が早く解除になることを願う。

広島地区の受注計画は、ほぼ予定通り実施出来ているが、東京での受注計画が新型コロナウイルスの影響により先行きが不透明である。特に百貨店関係の開発予定が軒並み延期、中止になっており、今後どの業種にまで影響してくるのが見えない状況である。

4月に引き続き、新型コロナウイルスの影響が出ている。ただ、5月に入って地方の緊急事態宣言が解除となり、4月に滞っていた受注が一気に入ることもある。今後の回復にすぐに対応できる準備をしておく必要がある。

在宅勤務や移動制限等によりユーザー企業、弊社双方とも対面での協議や新規開拓営業が出来ず、今後の受注遅れや減少を懸念している。

#### （建設業）

#### ●工事業

##### 広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、5月度は前月比9.2%増加、前年同月比27.3%増加となった。物件の延期や保留はあるものの、新型コロナウイルスの影響による売上への影響は未だ顕著には出ていない。

建築工程の最後尾である内装仕上げ関係の新型コロナウイルスの影響は、今後徐々に顕在化していくことが予想される。夏以降の物件見積もり依頼が減少している。

#### **神辺建設業協同組合**

新型コロナウイルスの影響により、仕事量が減少している。

#### **福山地区電気工事業協同組合**

今月の工事受付件数は、前月比2.1%増加、前年比12.1%減少となった。新型コロナウイルスの影響か否か来月以降も注視していく。

現状では未だ新型コロナウイルスの影響を受ける前に受注した工事があるが、今の状況が続くと9月頃には受注予定がなくなる。秋口から厳しくなるのではないかと予想している。

(運輸業)

#### **●道路貨物運送業**

##### **松永地区トラック事業協同組合**

今月の売上高は、前月比、前年同月比ともに減少、収益状況も最悪の状況となった。

新型コロナウイルスの感染拡大により全国に緊急事態宣言が発出され、先月は関東、関西方面からの往路貨物が減少したが、今月は自動車、機械、鉄鋼、住宅関連等すべての業種において貨物量が減少し、ドライバーを計画的に休ませて雇用調整助成金を申請する事業者も出てきている。リーマン・ショックの時には影響すら感じなかった事業者もいたが、今回は全ての事業者が貨物減少による影響を受け、売上はかなり減少している。

##### **広島輸送ターミナル協同組合**

5月は稼働日数が少ない上に、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響で4月よりさらに物流量は減少し、収益も減少した。

そのような状況の中で、スーパー関連の食品、日用品、小口宅配関連の物流は増加したが、その他は減少し、自動車関連輸送は大きく減少した。6月以降の物流量がどこまで復活するのか心配している。

##### **中国カーゴ軽運送協同組合**

今月の売上は、前年同月比30%減少、前月比12.7%減少と厳しい状況である。

#### **●水運業**

##### **全国内航タンカー海運組合中国支部**

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

#### **●不動産業**

##### **広島県不動産評価システム協同組合**

前月比及び前年同月比は固定資産標準宅地評価作業と路線価作業の報酬の入金があり、売上高、収益状況、資金繰りは好転している。

先月から広島県の地価調査基準地の評価作業が始まっており、7月からは固定資産税標準宅地評価の時点修正作業も始まるが、新型コロナウイルスの影響は依然不透明である。

不動産賃貸業が新型コロナウイルスの影響で、飲食店ビル等の店子の家賃減額要求により家賃収入が減少している。

新型コロナウイルスの影響により、先行きが不透明なこともあり新規のホテルやマンション用地の取得が止まり、新規ホテルやマンション建設計画もストップしその取得用地は当面コインパークとして利用している。